

教科・科目		対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
公民・公共		2年	2	『詳述公共』（実教出版）	『詳述公共演習ノート』（実教出版）
科目の概要と目標		倫理的・経済的・政治的視点から現代社会の様々な原理・現象を概観するとともに、基礎的知識の定着をはかる。広い視野から自己の生き方・あり方を模索するとともに、現代社会に生きる人間として必要な判断力・思考力を養う。			
授業の進め方		基礎的な知識、概念の定着をはかるとともに、資料を活用しながら考察を深め、自分の意見を表現する学習活動も重視する。			
評価の観点と方法		・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点から評価を行う。 ・定期考査、課題等の提出状況を総合的に評価する。			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標	
年間の授業内容	1学期	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 社会とは何か 第4章 民主国家における基本原理		- 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 - 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 - 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 - 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解する。	
	2学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 第3章 現代の経済社会 第4章 経済活動のあり方と国民福祉		- 法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 - 憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 - 公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。	
	3学期	第5章 国際政治の動向と課題 第6章 国際経済の動向と課題		- 相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土や領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。 - 世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解する。	

